

第2学年1組 国語科学習指導案

児童数 20名
指導者 大塚 光子

1 単元名 声やうごきであらわそう「名前を見てちょうだい」(東京書籍 2年下)

2 単元について

- 子供たちは、1学期に「お手紙」の学習で、物語がいくつかの場面からできていることを理解し、人物の行動に即して物語を読む学習を行っている。本単元では、物語の展開に即して場面を分け、人物の行動や様子を想像して音読や動作で表現することをねらいとする。
- 本学級の子供たちは、人物の行動や様子を想像しながら物語を楽しむことができる。また、音読にも意欲的に取り組む。しかし、想像したことを音読に生かすことが苦手な子供が多い。人物の行動や様子から想像したことをより具体的な言葉や表現に表す経験が少なかったのではないかと思われる。そこで、本単元では、人物の行動や様子をより詳しく、具体的に想像し、その人物になったつもりで、音読や動作化に取り組むようにしたい。また、表現する際には、なぜそのような読み方や動作になったのかを叙述をもとに考えるようにしていきたい。

3 本時の学習(6/15時)

(1) ねらい

えっちゃんが野原できつねと出会った場面を読み、えっちゃんの様子を想像し、想像したことを声や動きで表すことができる。

(2) 展開

学習過程	学習活動	時配	指導上の留意点と評価 評価<観点>(方法) アンダーラインは研修主題との関連 (視点) 特別な配慮を必要とする子供への支援 ☆	資料等
見通しをもつ	1 第三場面を音読し、学習課題を確認する。	5	・第三場面の文章を掲示し、児童の発言と叙述を結び付けて学習できるようにする。	赤い帽子
野原できつねと出会ったえっちゃんのようにすを思いうかべて〇〇読みをしよう				
自分の考えをもつ	2 えっちゃん顔マークを考え、その理由や想像したことを書く。	10	・えっちゃんの話した言葉から顔マークを選ぶことで、人物の様子を想像することができるようにする。(視点1) ☆想像しやすい会話文を提案し、自分だったらどう思うかを考えてみるよう助言する。	ワークシート
学び合う	3 友達の考えを聴く。 ・びっくりしていると思います。わけは、突然きつねが帽子を被っていたからです。 ・怒っていると思います。勝手に人の帽子を被らないでと思っていると思います。	15	・いろいろな顔マークの子供の発言を取り上げることで、人物や場面の様子をより詳しく想像できるようにする。 ☆友達と同じ顔マークの人を聞くことで、自分の考えを確認し、次の活動に意欲をもてるようにする。	
振り返る	4 自分の考える読み方を書き、ペアで聴き合う。 ・「どうしよう読み」をします。わけは、名前が変わっていてえっちゃんがどうしようと思っているからです。 ・えっちゃんがどうしようと思っているのが伝わってきたよ。	10	・読み方を考え、名付けることで、想像したことをまとめることができるようにする。また、自分の読み方をペアで聴き合い、相互評価することで、自分の音読の変容が実感できるようにする。(視点1) ・声や動きにうまく表している子供を全体に広め、自分の音読の参考になるようにする。	
	5 学習したことを振り返り、えっちゃん日記を書く。 ・へんねえ。どうしてあたしの名前ではないのかな。	5	・振り返りが終わったら、学習計画表に今日の学習の満足度を記入し、自分の学びを実感できるようにする。 えっちゃんが野原できつねと出会った場面を読み、えっちゃんの様子を想像し、想像したことを声や動きで表すことができる。<読むこと>(ワークシート・発言・音読)	

(3) 視点

ワークシートの工夫やペア活動は、場面や人物の様子を想像するために効果的であったか。

4 板書計画

すきな場面を書き写し、声や動きで表現しよう 「名前が書いてあるんだよ」

野原(の)まきつねと出逢ったえっちゃんの名前が、うすを聞いてうかへて〇〇読みをしよう

それ、あたしのほうしよ。」

おこりんぼう
おねがい
読み

ゆびまして

つよく
かえしてよ。
わたしのだから。
かえしてほしいなあ。
おねがいだから。

「あたしの名前が書いてあるわ。
名前を見てちょうだい。」

「ほくのだよ。」

「すまして」

「あたしの名前が書いてあるわ。」

「へんねえ。」

ほんとうにそう見えます。

もう一度たしかめようとした

えっちゃん日記

へんねえ。
あたしの名前が書いてあるはずなのに、おかしいなあ。
あたしは、えっちゃんだ。
でも、あたしは、どこにあるの。
まきつねさんが、うすをうすでいるんじやない?

どうして? 本当になつねのなのかな。
あたしのほうしよ、どこにいったのかな。
どうなってるの?

せったいおかし。
うすをついでらんだ。
もう一度、ちゃんと名前を言せて!

どっでもけこった
かえしてもらえるかも
じしんたっぶり
読み

「びっくり
うたがい
読み

名前どうしようがある。
これでかえしてくるはず。
読み

- 11 -

5 学力の見える化 (本時のルーブリック表 (具体的な評価基準))

S	A	B	C
<p>友達の考えを理解し、感じたことを取り入れながら、音読している。</p>	<p>叙述からえっちゃん(の)気持ちを読み取り、音読に生かしている。</p>	<p>想像したえっちゃん(の)気持ちを、声や動きで表しながら音読している。</p>	<p>声や動きで表しながら、音読している。</p>